

あさざり町水道事業管理者
あさざり町長 北口 俊朗 様

あさざり町監査委員 尾 方 正 志
あさざり町監査委員 難 波 文 美

令和 7 年度あさざり町水道事業会計決算に係る審査意見書の提出について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、令和 8 年 7 月 22 日付あさ水第 714 号で審査を求められた令和 7 年度あさざり町水道事業会計決算を審査したので、同条第 4 項の規定に基づき意見を提出する。

1 審査対象

令和 7 年度あさざり町水道事業会計決算書

- ① 令和 7 年度 水道事業会計決算報告書
- ② 令和 7 年度 水道事業会計損益計算書
- ③ 令和 7 年度 水道事業会計剰余金計算書
- ④ 令和 7 年度 水道事業会計剰余金処分計算書
- ⑤ 令和 7 年度 水道事業会計貸借対照表
- ⑥ 令和 7 年度 水道事業報告書
- ⑦ 付属明細書（収益費用明細書・固定資産明細書・企業債明細書）

2 審査期日 令和 8 年 7 月 23 日～7 月 31 日の間

3 審査場所 本庁舎監査室

4 審査要領

町長から提出された決算書及び付属書類について

- ① 決算計数は適正であるか
- ② 予算執行及び事業が法令に適合し、その目的に沿って効率的に執行されているか
- ③ 財産の管理・運営は適正に行われているか

を主眼として照査するとともに、担当者の説明を聴取し審査した。

5 審査結果

審査の対象とした令和 7 年度決算書及び付属書類の計数は、関係諸帳簿及び証票書類の計数と符合し、いずれも正確であることを確認した。

6 決算の状況

- (1) 収益的収入・支出の決算状況について第 1・3・6 表のとおりである。
- (2) 資本的収入・支出の決算状況について第 4・5・7 表のとおりである。
- (3) 利益等の状況について、当年度純損失 6,747 千円（税抜）で、前年度の純利益から純損失に転落してしまった。給水件数は 70,539 件であり、前年度と比べ 251 件減少している。

7 審査の意見

当年度の収益的収支は、事業収益 371,507,199 円（税込 467,998,879 円）、事業費用 378,254,519 円（税込 390,295,085 円）で純損失 6,747,320 円である。これは、大幅に事業収益（前年分事業収益、394,065,896 円）が減収していることによるものである。

有収率については、68.4%と前年度（71.6%）に比べ 3.2%下降しており、配水量の 3 分の 1 程度が失われている。原因の解明と対策を確実に行っていただきたい。

水道使用料金の収納状況については、第 2 表のとおりであり、収納率は 97.4%となり、前年度に比べ 0.1%増加した。不納欠損額は 473 千円、収入未済額は過年度分を含めて 4,932 千円と前年度に比べ 1,117 千円減少している。本年度も 500 万円近くの未収額が発生しており、更なる徴収努力をお願いしたい。

固定資産構成比率が 87.5%（前年 82.6%）に、固定負債構成比率が 42.0%（前年 33.8%）と、依然として事業の硬直化が懸念される数値である。更に、収益も赤字となっており、有収率から推測すると、漏水等が発生していると考えられ、今後老朽施設の改修等が増えていくことなど厳しい状況であり、更なる経営改善を進めていく必要があると考える。

I 経営成績（収益的収支）について

（１）事業収益について

《第1表》

収益的収入の決算状況

（単位：円・％）

収入科目（款・項・目）	令和7年度 決算額 ①	令和6年度 決算額 ②	比 較 (①-②)③	対前年 伸び率 ③/②
1. 事業収益	467,998,879	433,597,435	34,401,444	7.9
1. 営業収益	201,090,562	215,726,333	△ 14,635,771	△ 6.8
1. 給水収益	200,998,327	215,521,308	△ 14,522,981	△ 6.7
2. 受託工事収益	0	0	0	
3. その他の営業収益	92,235	205,025	△ 112,790	△ 55.0
2. 営業外収益	266,908,317	217,871,102	49,037,215	22.5
1. 受取利息及び配当金	2,174,106	375,541	1,798,565	478.9
2. 他会計補助金	44,140,594	26,702,608	17,437,986	65.3
3. 消費税還付金	78,740,096	19,938,465	58,801,631	294.9
4. 長期前受金戻入	77,785,476	100,365,994	△ 22,580,518	△ 22.5
5. 引当金戻入	0	0	0	
6. 雑収益	124,918	558,895	△ 433,977	△ 77.6
7. 資本費繰入収益	63,943,127	69,929,599	△ 5,986,472	△ 8.6
3. 特別利益	0	0	0	0.0
1. 固定資産売却益	0	0	0	
2. 過年度損益修正益	0	0	0	0.0
計	467,998,879	433,597,435	34,401,444	7.9

※（款）1（項）2（目）4 長期前受金戻入は非現金収益

《第2表》

水道料金の収納状況

（単位：円）

年 度	区 分	調定額等 ①	収入済額 ②	不納欠損 ③	未収額 ④	徴収率 ②／①	備 考
令和7年度	現年度分	200,998,327	198,525,575		2,472,752	98.8%	
	過年度分	6,049,824	3,117,813	472,871	2,459,140	51.5%	
	計	207,048,151	201,643,388	472,871	4,931,892	97.4%	
令和6年度	現年度分	215,521,308	212,220,069		3,301,239	98.5%	
	過年度分	5,662,295	2,899,640	15,016	2,747,639	51.2%	
	計	221,183,603	215,119,709	15,016	6,048,878	97.3%	
令和5年度	現年度分	217,406,253	214,304,602		3,101,651	98.6%	
	過年度分	6,374,772	3,735,729	74,741	2,564,302	58.6%	
	計	223,781,025	218,040,331	74,741	5,665,953	97.4%	

(2) 事業費用について

《第3表》

収益的支出の決算状況

(単位:円・%)

収入科目(款・項・目)	令和7年度 決算額 ①	令和6年度 決算額 ②	比較 (①-②)③	対前年 伸び率 ③/②
1. 事業費用	390,295,085	388,416,094	1,878,991	0.5
1. 営業費用	356,062,067	361,876,505	△ 5,814,438	△ 1.6
1. 原水及び浄水費	42,043,854	50,840,191	△ 8,796,337	△ 17.3
2. 配水及び給水費	83,005,408	60,483,597	22,521,811	37.2
3. 受託工事費	0	0	0	
4. 総係費	34,606,118	33,992,796	613,322	1.8
5. 業務費	11,525,451	11,478,025	47,426	0.4
6. 減価償却費	184,249,275	180,499,148	3,750,127	2.1
7. 資産減耗費	631,961	24,582,748	△ 23,950,787	△ 97.4
8. その他の営業費用	0	0	0	
2. 営業外費用	34,181,954	26,391,818	7,790,136	29.5
1. 支払利息及び 企業債取扱諸費	33,001,215	26,244,608	6,756,607	25.7
2. 消費税及び 地方消費税	0	0	0	
3. 雑支出	1,180,739	147,210	1,033,529	702.1
3. 特別損失	51,064	147,771	△ 96,707	△ 65.4
1. 固定資産売却損	0	0	0	
2. 過年度損益修正損	51,064	147,771	△ 96,707	△ 65.4
3. 災害による損失	0	0	0	
4. 予備費	0	0	0	
1. 予備費	0	0	0	
計	390,295,085	388,416,094	1,878,991	0.5

Ⅱ 投資状況（資本的収支）について

（１）資本的収入について

《第4表》

資本的収入の決算状況

（単位：円・％）

収入科目（款・項・目）	令和7年度 決算額 ①	令和6年度 決算額 ②	比較 （①-②）③	対前年 伸び率 ③/②
1. 資本的収入	1,174,071,210	450,120,845	723,950,365	160.8
1. 企業債	894,400,000	293,900,000	600,500,000	204.3
1. 企業債	894,400,000	293,900,000	600,500,000	204.3
2. 出資金	90,618,406	91,385,253	△ 766,847	△ 0.8
1. 出資金	90,618,406	91,385,253	△ 766,847	△ 0.8
3. 工事負担金	2,607,504	21,013,392	△ 18,405,888	△ 87.6
1. 工事負担金	2,607,504	21,013,392	△ 18,405,888	△ 87.6
4. 水道加入金	344,300	695,200	△ 350,900	△ 50.5
1. 水道加入金	344,300	695,200	△ 350,900	△ 50.5
5. 補助金	186,101,000	43,127,000	142,974,000	331.5
1. 国庫（県）補助金	186,101,000	43,127,000	142,974,000	331.5
計	1,174,071,210	450,120,845	723,950,365	160.8

（２）資本的支出について

《第5表》

資本的支出の決算状況

（単位：円・％）

収入科目（款・項・目）	令和7年度 決算額 ①	令和6年度 決算額 ②	比較 （①-②）③	対前年 伸び率 ③/②
1. 資本的支出	1,287,720,664	551,530,574	736,190,090	133.5
1. 建設改良費	1,138,585,405	393,650,442	744,934,963	189.2
1. 配水設備整備費	1,138,214,224	391,218,621	746,995,603	190.9
2. 営業設備費	371,181	2,431,821	△ 2,060,640	△ 84.7
2. 企業債償還金	147,947,533	157,606,852	△ 9,659,319	△ 6.1
1. 企業債償還金	147,947,533	157,606,852	△ 9,659,319	△ 6.1
3. 投資	1,187,726	273,280	914,446	334.6
1. 投資	1,187,726	273,280	914,446	334.6
計	1,287,720,664	551,530,574	736,190,090	133.5

Ⅲ 予算の執行状況について

(1) 収益的収入及び支出の状況について

《第6表》

収益的収入及び支出の状況

(単位:円・%)

収入科目(款・項・目)	予 算 額 ①	決算額 (調定額)②	収入済額 ③	未収額 ②-③	決算額 構成比	収納率 ③/②
1. 事業収益	446,022,000	467,998,879	387,133,166	80,865,713	100.0	82.7
1. 営業収益	202,270,000	201,090,562	198,964,945	2,125,617	43.0	98.9
1. 給水収益	202,151,000	200,998,327	198,872,710	2,125,617	43.0	98.9
2. 受託工事収益	2,000	0	0	0	0.0	
3. その他の営業収益	117,000	92,235	92,235	0	0.0	100.0
2. 営業外収益	243,750,000	266,908,317	188,168,221	78,740,096	57.0	70.5
1. 受取利息及び配当金	1,437,000	2,174,106	2,174,106	0	0.5	100.0
2. 他会計補助金	44,624,000	44,140,594	44,140,594	0	9.4	100.0
3. 消費税還付金	58,604,000	78,740,096	0	78,740,096	16.8	0.0
4. 長期前受金戻入	75,140,000	77,785,476	77,785,476	0	16.6	100.0
5. 引当金戻入	1,000	0	0	0	0.0	
6. 雑収益	1,000	124,918	124,918	0	0.0	100.0
7. 資本費繰入収益	63,943,000	63,943,127	63,943,127	0	13.7	100.0
3. 特別利益	2,000	0	0	0	0.0	
1. 固定資産売却益	1,000	0	0	0	0.0	
2. 過年度損益修正益	1,000	0	0	0	0.0	
計	446,022,000	467,998,879	387,133,166	80,865,713	100.0	82.7

(単位:円・%)

支出科目(款・項・目)	予 算 額 ①	決算額 (支出負担行為額)②	支出済額 ③	未払額 ②-③	決算額 構成比	執行率 ②/①
1. 事業費用	383,516,000	390,295,085	382,809,343	7,485,742	100.0	101.8
1. 営業費用	348,393,000	356,062,067	348,576,325	7,485,742	91.2	102.2
1. 原水及び浄水費	44,994,000	42,043,854	40,212,937	1,830,917	10.7	93.4
2. 配水及び給水費	83,489,000	83,005,408	78,533,776	4,471,632	21.2	99.4
3. 受託工事費	5,000	0	0	0	0.0	0.0
4. 総係費	35,434,000	34,606,118	34,383,918	222,200	8.9	97.7
5. 業務費	11,665,000	11,525,451	10,564,458	960,993	3.0	98.8
6. 減価償却費	172,181,000	184,249,275	184,249,275	0	47.2	107.0
7. 資産減耗費	624,000	631,961	631,961	0	0.2	101.3
8. その他の営業費用	1,000	0	0	0	0.0	0.0
2. 営業外費用	33,004,000	34,181,954	34,181,954	0	8.8	103.6
1. 支払利息及び企業債取扱い費	33,002,000	33,001,215	33,001,215	0	8.5	100.0
2. 消費税及び地方消費税	1,000	0	0	0	0.0	0.0
4. 雑支出	1,000	1,180,739	1,180,739	0	0.3	118073.9
3. 特別損失	202,000	51,064	51,064	0	0.0	25.3
1. 固定資産売却損	1,000	0	0	0	0.0	0.0
2. 過年度損益修正損	200,000	51,064	51,064	0	0.0	25.5
4. 災害による損失	1,000	0	0	0	0.0	0.0
4. 予備費	1,917,000	0	0	0	0.0	0.0
1. 予備費	1,917,000	0	0	0	0.0	0.0
計	383,516,000	390,295,085	382,809,343	7,485,742	100.0	101.8

(2) 資本的収入及び支出の状況について

《第7表》

資本的収入及び支出の状況

(単位:円・%)

収入科目(款・項・目)	予 算 額 ①	決算額 (調定額)②	収入済額 ③	未収額 ②-③	決算額 構成比	収納率 ③/②
1. 資本的収入	1,230,826,000	1,174,071,210	1,016,058,210	158,013,000	100.0	86.5
1. 企業債	946,200,000	894,400,000	894,400,000	0	76.2	100.0
1. 企業債	946,200,000	894,400,000	894,400,000	0	76.2	100.0
2. 出資金	90,618,000	90,618,406	90,618,406	0	7.7	100.0
1. 出資金	90,618,000	90,618,406	90,618,406	0	7.7	100.0
3. 工事負担金	2,700,000	2,607,504	2,607,504	0	0.2	100.0
1. 工事負担金	2,700,000	2,607,504	2,607,504	0	0.2	100.0
4. 水道加入金	557,000	344,300	344,300	0	0.0	100.0
1. 水道加入金	557,000	344,300	344,300	0	0.0	100.0
5. 補助金	190,751,000	186,101,000	28,088,000	158,013,000	15.9	15.1
1. 国庫(県)補助金	190,751,000	186,101,000	28,088,000	158,013,000	15.9	15.1
計	1,230,826,000	1,174,071,210	1,016,058,210	158,013,000	100.0	86.5

支出科目(款・項・目)	予 算 額 ①	決算額 (支出負担行為額)②	支出済額 ③	未払額 ②-③	決算額 構成比	執行率 ②/①
1. 資本的支出	1,399,156,000	1,287,720,664	1,287,720,664	0	100.0	92.0
1. 建設改良費	1,250,019,000	1,138,585,405	1,138,585,405	0	88.4	91.1
1. 配水設備整備費	1,249,039,000	1,138,214,224	1,138,214,224	0	88.4	91.1
2. 営業設備費	980,000	371,181	371,181	0	0.0	37.9
2. 企業債償還金	147,949,000	147,947,533	147,947,533	0	11.5	100.0
1. 企業債償還金	147,949,000	147,947,533	147,947,533	0	11.5	100.0
3. 投資	1,188,000	1,187,726	1,187,726	0	0.1	100.0
1. 投資	1,188,000	1,187,726	1,187,726	0	0.1	100.0
計	1,399,156,000	1,287,720,664	1,287,720,664	0	100.0	92.0

IV 内部資金の状況について

《第8表》

内部資金(資金の種類別)の状況

(単位:円)

区 分		令和6年度 末現在高 A	令和7年度 増加額 B	計 (A + B) C	令和7年度 補填財源 D	令和7年度 末現在高 (C - D)	備 考
引 継 金		0	0	0		0	
引 継 貯 蔵 品		0	0	0		0	
積 立 金	減 債 積 立 金	181,370,528	0	181,370,528	0	181,370,528	
	建 設 改 良 積 立 金	10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000	
	計	191,370,528	0	191,370,528	0	191,370,528	
過年度分消費税資本的収支調整額		19,938,465		19,938,465	19,938,465	0	
当年度分消費税資本的収支調整額		0	85,138,713	85,138,713	6,398,617	78,740,096	
損 益 勘 定 留 保 資 金	過 年 度 分	減 価 償 却 費	326,962,802		326,962,802	86,765,120	240,197,682
		繰 延 勘 定 償 却	0		0		0
		棚 卸 資 産 減 耗 費	0		0		0
		固 定 資 産 除 却 費	114,183,970		114,183,970	0	114,183,970
		そ の 他 ()	3,853,841		3,853,841	547,252	3,306,589
		計	445,000,613	0	445,000,613	87,312,372	357,688,241
	当 年 度 分	減 価 償 却 費	0	184,249,275	184,249,275	0	184,249,275
		繰 延 勘 定 償 却	0		0		0
		棚 卸 資 産 減 耗 費	0		0		0
		資 産 減 耗 費	0	631,961	631,961		631,961
		そ の 他 ()	0		0		0
		計	0	184,881,236	184,881,236	0	184,881,236
	長期前受金戻入(△)		0	△ 77,785,476	△ 77,785,476		△ 77,785,476
繰越利益剰余金処分額 (12条予算計上額)		39,732,508	16,722,997	56,455,505		56,455,505	
当年度利益剰余金処分額 (12条予算計上額)							当年度純損失① 6,747,320
合 計		696,042,114	208,957,470	904,999,584	113,649,454	② 791,350,130	
備 考	令和7年度末内部資金現在高 791,350,130 円						
	令和8年度への実質繰越資金＝						
	②-①＝ 784,602,810円						
	-) 令和6年度末内部資金現在高		696,042,114 円				
	令和7年度中の増加額		95,308,016 円				

V 資産及び企業債の状況について

《第9表》

基金および企業債の状況

(単位:円)

区 分		令和6年度末 現 在 高	令和7年度中		令和7年度末 現 在 高
			積立額	取り崩し額	
基金	水道事業基金	250,393,990	1,187,726	0	251,581,716
	計	250,393,990	1,187,726	0	251,581,716

区 分		令和6年度末 現 在 高	令和7年度中		令和7年度末 現 在 高
			借入金	返済金	
企業債	水道事業債	2,352,402,773	636,200,000	147,947,533	2,840,655,240
	計	2,352,402,773	636,200,000	147,947,533	2,840,655,240

VI 経営分析について

《第10表》

令和7年度上水道事業会計経営分析比率表

分析項目		算 式	R7	R6	R5 %	説 明
構成比率	固定資産 構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延資産}} \times 100$	87.5	82.6	86.2	総資産に対する固定資産の占める割合を示すもので、大であれば資本が固定化の傾向にあり新たな事業展開が困難となる。
	固定負債 構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	42.0	33.8	33.7	総資本(資本+負債)とこれを構成する固定負債・流動負債・自己資本(自己資本金+剰余金)の関係を示すもので、自己資本構成比率が大であるほど経営の安定性は大きいものといえる。
	自己資本 構成比率	$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	55.4	58.6	62.0	
財務比率	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{繰延収益}} \times 100$	157.8	140.9	139.0	固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであるとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましい。
	固定資産対 長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$	89.8	89.4	90.1	固定資産の調達 は 自己資本と固定負債の範囲内で行われるべき企業財政上の原則から100%以下が望ましい。
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	483.6	229.0	317.6	短期債務に対しこれに必ず流動資産が十分あるかどうかを示し、理想比率は200%以上といわれる。
	当座比率	$\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	479.2	169.1	298.6	流動資産のうち、現金預金及び容易に現金化しうる未収金等の当座資産と流動負債とを対比させたもので100%以上が理想とされている。
	現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	334.1	163.2	273.9	流動負債に対する現金預金の割合を示す比率で、20%以上が理想値とされている。
回転率	自己資本 回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本}) \div 2} \text{ (回)}$	0.05	0.06	0.06	自己資本の活動能力を示すもので、比率が高いほど資本の回収が早く営業活動が活発であり収益性も大きい。
	固定資産 回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産}) \div 2} \text{ (回)}$	0.04	0.04	0.04	この比率が低いことは固定資産への投資の過大を示し、高いほど設備の効率的使用を示す。
	流動資産 回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産}) \div 2} \text{ (回)}$	0.20	0.23	0.29	短期資産の活動状況を示し、比率が高いほど収益の回収が早く、健全性を示す。
	未収金 回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金}) \div 2} \text{ (回)}$	1.36	4.68	2.63	未収金の回収速度を示すもので、高いほど回転が速く、債権が未回収のまま残留する期間が短いことを示す。
	減価償却率	$\frac{\text{当年度減価償却額}}{\text{有形固定資産}+\text{無形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}+\text{当年度減価償却額}} \times 100$	3.35	3.95	3.99	償却資産のうち当年度減価償却額の占める割合を示す。
収益率	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	98.2	104.4	110.1	収益と費用の総体的な関連を示すものである。
	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	98.2	104.5	110.2	経常的な収益と費用の関連を示すものである。
	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	53.1	55.9	54.0	業務活動の能率を示すもので、これによって経営活動の成否が判断される。
その他	利子負担率	$\frac{\text{支払利息}+\text{企業債取扱諸費}}{\text{建設改良の財源に充てるための企業債・長期借入金+その他の企業債・長期借入金+一時借入金+リース債務}} \times 100$	1.2	1.3	1.3	損益計算書が示す借入資本利子を、貸借対照表に示された負債と比較することにより利子率を計算したもの。
	不良債務比率	$\frac{\text{流動負債}-\text{建設改良の財源に充てた企業債・長期借入金+PFI法に基づく事業に係る建設事業費等のリース債務}-(\text{流動資産}-\text{翌年度繰越財源})}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$	△ 429.2	△ 363.4	△ 335.7	この比率が高いということは、それだけ企業の経営が悪化していることを示す。